



がっこう 学校だより

がっこう
6月号



**Challenge
Dream
Interaction**

れいわがんねん がつ か
令和元年5月31日
よこはましりつかみいだしょうがっこう
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

つく あ うんどうかい みんなで創り上げた運動会

がっこうちよう よこやま よしあき
学校長 横山 美明

5月25日(土)に運動会が行われました。天気予報では、当日は30度を超える暑さになるので、熱中症に注意するようと呼びかけていました。学校でも、子どもたちはもちろんのこと、参観されている保護者や来賓の方々も熱中症にならないように、その対策について話し合いをもち、運動会に臨みました。当日は、放送席からこまめに水分補給について声をかけたり、日陰に昼食の場所を確保したりしました。確かに暑い中ではありましたが、幸い大きなけがや事故もなく、子どもたちが練習の成果を発揮して、存分に演技や競技ができたことは本当にうれしいことです。運営面では、PTA役員の方々に来賓の受付や接待、写真撮影、観覧席への誘導などたくさんの場面でお手伝いいただきました。また、終了後にはたくさんの保護者が、進んで机や椅子、テントや万国旗等の片付けを手伝っていただきました。おかげで、子どもたちが下校した後の校庭は、本当に今日運動会が行われたのだろうかというくらいにきれいに片付いていました。こうした保護者の方々の協力体制やマナーも年々高まっているようで、副校長とPTA会長が学校周りの道路のゴミ拾いをした際にも、昨年は数十本あったたばこの吸い殻が今年は5本ほどしか落ちていなかったとのことでした。開会式でもお話したように、運動会の実施にあたっては、学校周辺地域の皆様のご理解も欠かせないものです。連休前から大きな音で近隣の皆様にはご迷惑をおかけしたことと思いますが、子どもたちの教育活動ということで、ご理解をいただけたことも本当にありがたいです。

調べてみると、日本で通常行われている運動会のようなものは世界には例を見ないそうです。アメリカにもフィールドデー(Field Day)と呼ばれる運動会に似たものもあるようですが、日本のように「練習を重ねて本番に臨む」「みんなで協力して運動会を創り上げる」というものではなく、自分が参加したい種目に自由に参加するといったもののようです。

運動会という一大イベントを行うには、学校だけでなく、保護者や地域のご理解・ご協力なしには考えられません。「親の背を見て子は育つ」ということわざがありますが、子どもは、一番身近にいる大人である親の姿を見て、それを当たり前のこととして自分の常識とするということです。

当日も含めて運動会に向けて、自分達のために動いてくださった姿を目にした子どもたちは、これがあるべき姿としてとらえていくと思います。準備から当日まで本当にありがとうございました。